

略 歴

櫛島次郎（ぬでしま・じろう）

1960 年生まれ。横浜市出身。

1983 年 3 月 東京大学文学部社会学科卒業

1988 年 3 月東京大学大学院社会学研究科博士課程修了

91 年 3 月同研究科より学位取得（社会学博士）

1990 年 12 月、三菱化成（現「化学」）生命科学研究所入所

2000 年 6 月～02 年 3 月 熊本大学発牛医学研究センター客員教授（兼務）

2002 年 4 月～04 年 3 月 三菱化学生命科学研究所社会生命科学研究室長

2004 年 4 月～07 年 3 月 科学技術文明研究所主任研究員

2007 年 4 月～2010 年 3 月 三菱化学生命研協力研究員

2006 年～2015 年 東京工業大学生命理工学部非常勤講師（生命倫理学概論担当）

2006 年 11 月～ 自治医科大学客員研究員

2007 年 4 月～ **生命倫理政策研究会共同代表**

2007 年 11 月～2017 年 6 月 東京財団研究員（非常勤）

2015 年 8 月～ 慶応大学医学部臓器形成寄付講座非常勤講師 現在に至る

専門：生命科学・医学の研究と臨床応用を中心にした科学政策論、文明論
人間の欲望と自由の、社会の中での限界を考える評論

著 書：

『優生学と人間社会』（共著、講談社現代新書、2000）

『先端医療のルール』（講談社現代新書、2001：NIRA 大来政策研究賞受賞）

『生命の研究はどこまで自由か』（岩波書店、2010）

『精神を切る手術 脳に分け入る科学の歴史』（岩波書店、2012）

『移植医療』（共著、岩波新書、2014）

『生命科学の欲望と倫理』（青土社、2015）

『これからの死に方 葬送はどこまで自由か』（平凡社新書、2016）

論文・論説

[2017 年]

ゆりかごから宇宙へ 人類文明最大の課題（岩波書店『図書』・2017/4）

安楽死は悪いことか？（ α シノドス vol.217・2017/4/1）

生命倫理は法律にはいけない？（時の法令 2017/4/30 号）

医学は学問か？（時の法令 2017/5/30 号）

生命倫理よりも職業倫理を（時の法令 2017/6/30 号）

[2016 年]

倫理的側面から子宮移植を考える（Medical Torch・2016/5）

精神疾患に対する脳神経外科的治療 - 日本での臨床試験が直面する課題（臨床評価 44 巻 2 号、291-297 頁）

「望み通りの死」包括支援を（毎日新聞・2016/8/21）

ジャンル別用語解説 生命科学（現代用語の基礎知識 2017・2016/11）

ルールなき臨床研究（朝日新聞オピニオン面・2016/12/16）

[2015 年]

STAP 細胞騒動を問う（聖教新聞・2015/1/29）

論点スペシャル 実験的医療は法の下で（読売新聞・2015/2/10）

生殖補助医療法制化のあり方と生命倫理（日本医師会雑誌・2015/5）

先端医療をめぐる欲望にどう向き合うか（ブリタニカ国際年鑑 2015・2015/4）

「精神外科」の過去と現在（臨床精神医学 44 巻 7 号 931-937 頁）

献体と吊いのあり方の変化について（渋沢栄一記念財団『青淵』・2015/9）

被災地 15 万人 進む遺伝子解析 地域選定に疑問（北海道新聞・2015/12/11）

[2014 年]

論点[STAP 細胞問題]科学の本筋通す姿勢を（毎日新聞・2014/4/11）

STAP 細胞問題 間違ふことは科学の本質（下野新聞・2014/4/30 など）

生殖補助医療 どう法整備 「夫婦間」を含む条文に（日本経済新聞・2014/11/23）

臓器再生医療と生命倫理（腎と透析 77 巻 6 号 904-908 頁）

[2013 年]

ノーベル賞と生命倫理と宗教（中外日報・2013/2/5）

iPS 細胞は医療を変えるか？ 応用への眼力養おう（朝日新聞・2013/2/26）

先端医療の生と死 1～10（週刊仏教タイムス・2013/4/11～6/20）

人の親になるとは 生殖補助医療めぐる法律議論から（聖教新聞・2013/10/29）

人体組織も移植法の対象に（毎日新聞・2013/11/14）

[2012 年]

生命倫理サロンの試み 先端医療を語る場をつくる（聖教新聞・2012/5/1）

フランス人対象研究法 2012 年改正 「臨床研究」の新たな仕分けを主眼として（臨床評価 40 巻 1 号 71-77 頁）

〈iPS 細胞ノーベル賞受賞〉をどう受けとめたらよいか（世界・2012/12）

[2011 年]

WHO 移植指針 2010 年改訂と日本の課題 (移植・2011/3)

脳画像技術に法規制：フランス生命倫理政策の新動向 (科学・2011/9)

[2010 年]

心に残る一冊 渡辺格『人間の終焉』(科学・2010/7)

脳死論議の彼方にあるべきもの 生命観の基礎としての免疫学再考(現代思想・2010/7)

憲法の学問の自由と原子力・生命科学研究 (日本原子力学会誌アトモス・2010/8)

改正臓器移植法 3 ヶ月 適正な実施に欠かせぬ情報 (毎日新聞・2010/10/19)